

製品名: オステオプロテゲリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86262**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:200, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 46 kDa; Observed MW:

抗原情報

遺伝子名	Osteoprotegerin
別名	OPG; TR1; OCIF; PDB5
遺伝子 ID	4982
SwissProt ID	O00300
免疫原	ヒトオステオプロテゲリンの合成ペプチド

背景

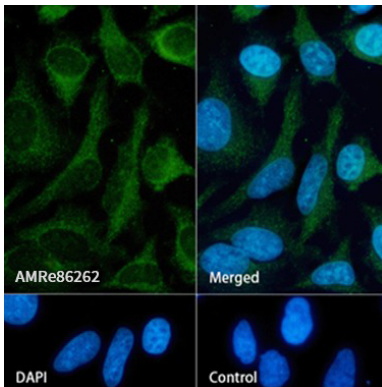
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーに属します。このタンパク質は骨芽細胞から分泌さ

れるデコイ受容体であり、骨吸収の負の調節因子として機能します。このタンパク質は、そのリガンドであるオステオプロテゲリンリガンドに特異的に結合します。オステオプロテゲリンリガンドとオステオプロテゲリンリガンドは、どちらも破骨細胞の発達における重要な細胞外調節因子です。マウスにおける類似体の研究からも、このタンパク質とそのリガンドがリンパ節器官形成および血管石灰化に関与していることが示唆されています。この遺伝子の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されていますが、その全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



オステオプロテゲリンウサギモノクローナル抗体を使用してオステオプロテゲリンを標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。